

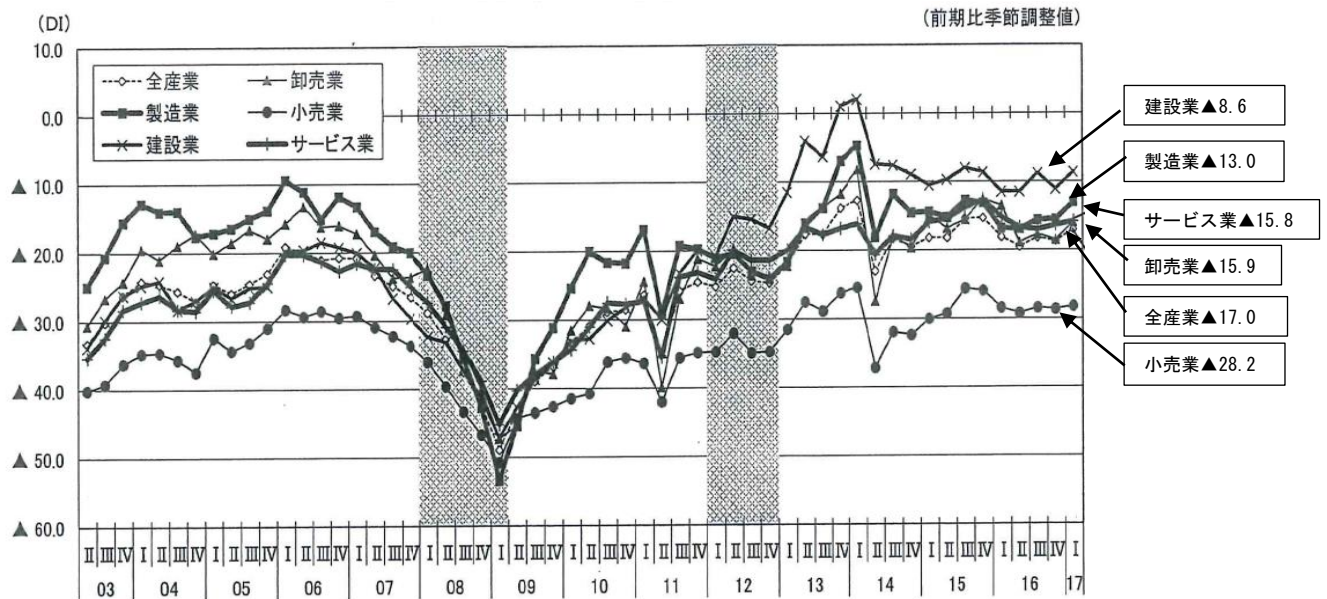
大町町地域経済動向調査

■全国の景況

◇中小企業景況調査(2017年1~3月期より)

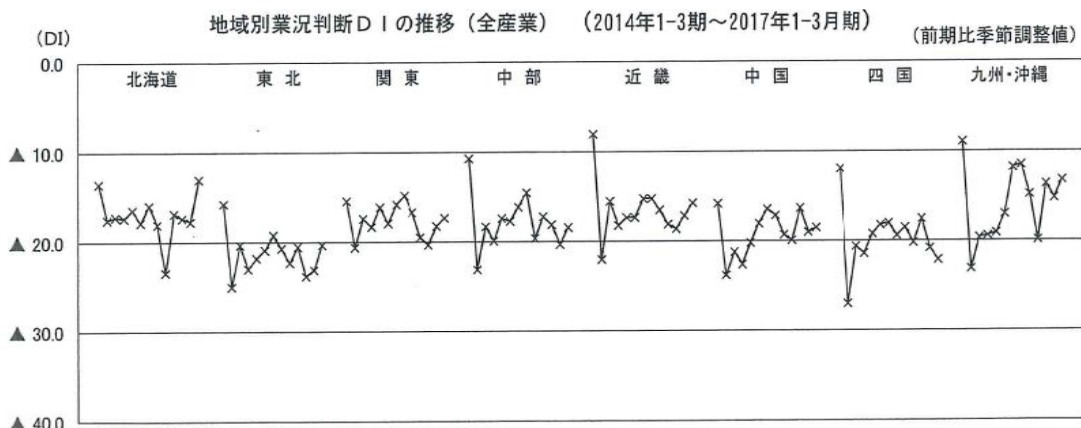
『中小企業の業況は、一部業種に足踏みがみられるものの、持ち直しの動きを示しています。』

<中小企業の業況判断(2017年1~3月期)>



- ・業況判断は、2008年のリーマンショックによる金融危機により大きく落ち込んだ後、回復をみせ、近年は横ばいから緩やかな上昇となっている。
- ・業種別では、小売業が最も厳しい業況判断となっている。

<地域別業況判断(2017年1~3月期)>



(注) 1. 地域区分は、各経済産業局管内の都道府県により区分している。
 2. 関東には新潟、長野、山梨、静岡の各県、中部には石川、富山の各県、近畿には福井県を含む。九州・沖縄は、九州各県と沖縄県の合計。
 3. 業況判断DI=前期に比べて「好転した」企業の割合-前期に比べて「悪化した」企業の割合

- ・九州・沖縄はマイナス幅が縮小している。北海道、東北など7地域で、マイナス幅が縮小し、四国では、マイナス幅が拡大している。

■佐賀県の景況

◇佐賀県主要経済統計速報(H29.6より)

佐賀県主要経済統計速報6月号より、佐賀県内の経済情勢は以下のとおりとなっている。

佐賀県経済の最近の動向(対前年同月比)をみると、

- ・需要面では、百貨店・スーパー販売額(4月)は、全店販売額が2ヵ月連続で上回った。
乗用車新規登録台数(5月)は、7ヵ月連続で上回った。
新設住宅着工戸数(4月)は、2ヵ月振りに上回った。
公共工事前払保証請負金額(5月)は、2ヵ月振りに上回った。
- ・生産面では、鉱工業生産指数(4月)は、4ヵ月振りに上回った。
- ・雇用面では、有効求人倍率(就業地別)(4月)は、26ヵ月連続で上回った。
- ・企業倒産(5月)の件数は2件減で、金額は3ヵ月連続で上回った。
- ・金融機関(銀行)貸出金残高(5月)は、57ヵ月連続で上回った。

<佐賀県内の参考指数>

項 目		対象月	数 値	単 位	対前年同月比・ 増 減		前月比・増減分			
県内需要	個人消費	百貨店・スーパー販売額	全店販売額	4月	50億78百万	円	1.3%		△1.9%	
					既存店販売額	—	円	△0.4%		—
	住宅建設	乗用車新規登録台数	5月	2,147	台	21.2%		1.8%		
			新設住宅着工戸数	4月	332	戸	9.2%		△21.1%	
	公共工事	公共工事前払保証請負金額	5月	158億19百万	円	92.1%		25.7%		
生産	鉱工業生産指数(季節調整済)	4月	92.9		5.4%		6.1%			
雇用	雇用情勢：有効求人倍率・就業地別(%)	4月	1.43	倍	0.16 ポイント		0.06 ポイント			
企業倒産	企業倒産状況 (累計は年間ベース) (注)	倒産件数(当月)	5月	2	件	△2件		△1件		
		“(累計)”	10	件	△4件		—	—		
		負債金額(当月)	1億65百万	円	69百万		△3億77百万			
		“(累計)”	15億7百万	円	2億3百万		—	—		
物価	消費者物価指数(佐賀市)	4月	100.5		0.5%		0.4%			
金融	金融機関(銀行)の貸出残高	5月	1兆2,991億	円	2.9%		0.5%			
景気動向指数	先行指数	3月	50.0	%	—	—	—	—		
	一致指数		50.0	%	—	—	—	—		
	遅行指数		33.3	%	—	—	—	—		

※「全店販売額」はその年度に新規オープンした店も含む販売額で、「既存店販売額」は、その年度に新規オープンした店は含まない販売額を示す。

※「公共工事前払保証請負金額」は、前払金保証制度が利用されたものの金額(建設業者の請負金額)。前払金保証とは、建設企業が公共工事の発注者から請負金額の一部(通常は請負金額の40%以内)を、着工資金として受け取るために必要な保証のこと。

※「鉱工業生産指数」は、鉄鋼、一般機械、電気機器など鉄鋼業製品約500品目の生産状況を示すもので、「基準年=100」(基準年は平成22年)として、指数化して、水準の推移を把握するものである。

※「消費者物価指数」は、各世帯が購入する各種の財・サービスの価格の平均的な変動を測定するもので、平成27年を基準年としている。

※「先行指数」とは、景気の動きに先行して反応をしめす指標のこと。先行系列の指標として、新設住宅着工床面積など、12項目の指標を利用して、数ヶ月先の景気の動きを示す。

※「一致指数」とは、景気の動きにあわせて反応をしめす指標のこと。一致系列の指標として、有効求人倍率など、11項目の指標を利用して、景気の現状を示す。一致指数が50%以上なら景気が上向き、50%以下なら景気が下向きと判断される。

※「遅行指数」とは、景気の動きに遅れて反応をしめす指標のこと。遅行系列の指標として、家計消費支出など、6項目の指標を利用して、半年から1年遅れで反応する。

■大町町の景況

『大町町の景況は佐賀県的情勢に類似すると思われる』

◇保証月報(佐賀県信用保証協会より)

大町町内事業所の金融保証承諾などは以下のとおりである。

単位：件、千円

	H28.4				H29.4			
	保証承諾		保証債務残高		保証承諾		保証債務残高	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
大町町	0	0	54	282,885	0	0	52	259,055
佐賀県	173	1,510,325	11,158	87,613,660	189	1,618,410	10,684	81,875,097

・平成29年4月の大町町内中小企業の保証債務残高は、52件、259,055千円となっており、前年と比較して、佐賀県全体、大町町とも、減少となっている。

◇金融あっせん(大町町商工会 2016年4月～2017年3月まで)

大町町商工会で平成28年度に行った金融あっせん件数は13件であり、38%(5件)が設備資金、76%(10件)が運転資金借入れとなっている。

金融あっせん件数	うち設備投資	うち運転資金
13	5	10

※上記のうち、2件は設備資金、運転資金両方を借り入れている。

◇労働市場の概要

・ハローワーク武雄管内の有効求人倍率は、5月現在、0.84倍となっている。ここ数か月間の推移では、有効求人倍率は低下してきている。

有効求人・求職者数と有効求人倍率の動き(パートを含み、学卒を除く)

(注) 求人倍率のうち全国各月及び佐賀県各月は季節調整値、他はすべて原数値
全国各月及び佐賀県各月のうち平成28年12月以前の数値は29年1月に改訂済

